



令和 2 年 1 月 23 日
海 上 保 安 庁

新たな価値を創造する海洋情報

～令和元年度海洋情報部研究成果発表会を開催します～

海上保安庁海洋情報部が実施した最新の調査・研究成果などを紹介する「令和元年度海洋情報部研究成果発表会」を 2 月 27 日に開催します。

近年、海洋分野においても、AI、自律運航船、IT 漁業など最先端技術の利活用が推進される中、従来とは異なるデータや情報が必要とされていることなどを踏まえ、今年度は、「新たな価値を創造する海洋情報」をメインテーマに発表します。

海上保安庁海洋情報部は、我が国の産業や国民生活を支える海上交通の安全確保、海洋に起因する災害への対応、海洋環境の保全、海洋権益の確保、さらには海洋情報の円滑な流通を図るため最先端の調査・研究を行っており、その成果を分かりやすく紹介するため、毎年「研究成果発表会」を開催しています。

今回の発表会では、基調講演として、東京海洋大学 庄司りり副学長から「海洋産業における情報の役割」、また、株式会社 MTI 安藤英幸船舶物流技術部門長から「自律運航船フレームワークと情報の標準化」と題する講演をいただくこととしています。

記

- 1 開催日時
令和 2 年 2 月 27 日（木）13：30－17：30（13：00 開場）
- 2 開催場所
中央合同庁舎第 4 号館 2 階 共用 220 会議室
（東京都千代田区霞が関 3 丁目 1 番 1 号）
- 3 発表内容等
別紙「令和元年度海洋情報部研究成果発表会プログラム」をご参照ください。
- 4 その他
 - ・ 入場は無料、事前申し込みは不要です。当日、直接お越しください。
※専用駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
 - ・ 会場の座席数は、最大 150 席です。来場者数によっては、立席での聴講となる場合があります。

令和元年度海洋情報部研究成果発表会プログラム

日時：令和2年2月27日（木）13:30-17:30（13:00 開場）
会場：中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室
主催：海上保安庁海洋情報部 共催：一般財団法人日本水路協会

<開会挨拶>

13:30-13:35 海洋情報部長 加藤 幸弘

<口頭発表>

セッション1：新たな価値を創造する海洋情報

①13:35-14:25 【基調講演Ⅰ】
海洋産業における情報の役割
東京海洋大学 副学長 庄司 るり

14:25-14:30 休憩

②14:30-15:20 【基調講演Ⅱ】
自律運航船フレームワークと情報の標準化
株式会社MTI
船舶物流技術部門長 安藤 英幸

15:20-15:25 休憩

③15:25-15:45 航海情報の新時代
～S-100が拓く新たな世界～
技術・国際課 海洋研究室 服部 友則

④15:45-16:05 海の今を知る「海しる」
～海の見える化はじめました！～
海洋情報課 海洋空間情報室 桂 幸納

16:05-16:15 休憩

セッション2：一般テーマ

⑤16:15-16:35 科学的な地理情報を社会が共有する努力
～近代海図刊行のはじまり～
海洋情報課 矢吹 哲一朗

⑥16:35-16:55 南海トラフ巨大地震の解明につながる海底観測
～海域におけるゆっくりすべりの全体像～
技術・国際課 石川 直史

<閉会挨拶>

16:55-17:00 技術・国際課長 藤田 雅之

<ポスター発表(コアタイム：17:00-17:30)>

- P1 明治初期刊行海軍海図の国内外の図書館等の所蔵状況
海洋情報課 佐藤 敏
- P2 2019年までに得られた海底地殻変動観測の成果と観測点の新設
海洋調査課 海洋防災調査室 海底地殻変動観測チーム
- P3 伊豆・小笠原弧におけるカルデラ形成を伴う火成活動
～海徳海山の学際的研究へ向けて～
技術・国際課 海洋研究室 小原 泰彦
- P4 日本沿岸海域におけるChart Adequacyの評価手法の適用例と改善策の検討
技術・国際課 海洋研究室 小川 遥
- P5 深海マッピングの国際大会Shell Ocean Discovery XPRIZE優勝で実証した無人
海底地形調査ソリューション：GEBCO-Nippon Foundation Alumniチームによる
革新的技術の開発
技術・国際課 海洋研究室 住吉 昌直
- P6 楕円体高基準の水路測量とは？
～基本コンセプトの紹介～
技術・国際課 海洋研究室 住吉 昌直
- P7 水路測量での短期平均水面比較による平均水面の推定
海洋情報課 佐藤 敏
- P8 欠測の長さに対する調和定数の感度
環境調査課 土屋 主税
- P9 グリッド・時系列流速・流向データを用いた流況予測手法の検討
技術・国際課 海洋研究室 宗田 幸次
- P10 新造大型測量船「平洋」就役
海洋調査課 大陸棚調査室 中川 正則

会場へのアクセス



会 場 : 中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

最寄り駅 : 【東京メトロ】

- ・丸ノ内線・千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分
- ・丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」4番出口 徒歩5分
- ・銀座線「虎ノ門駅」6番出口 徒歩5分

新たな価値を創造する海洋情報

～先進的な海洋情報の提供及び利活用に向けて～

新たな価値を創造する海洋情報

基調講演 I

① 海洋産業における情報の役割

東京海洋大学 副学長
庄司 るり

基調講演 II

② 自律運航船フレームワークと情報の標準化

株式会社MTI
船舶物流技術部門長
安藤 英幸

③ 航海情報の新時代 ～S-100が拓く新たな世界～

技術・国際課 海洋研究室
服部 友則

④ 海の今を知る「海しる」 ～海の見える化はじめました！～

海洋情報課 海洋空間情報室
桂 幸納



一般テーマ

⑤ 科学的な地理情報を 社会が共有する努力 ～近代海図刊行のはじまり～

海洋情報課
矢吹 哲一朗

⑥ 南海トラフ巨大地震の解明に つながる海底観測 ～海域における ゆっくりすべりの全体像～

技術・国際課
石川 直史

ポスター発表

令和2年2月27日(木)

13:30—17:30 (開場 13:00)

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号
中央合同庁舎第4号館 共用220会議室
入場無料 ※ 事前申し込み不要

詳しくは「海洋情報」で検索(海上保安庁海洋情報部HP)
問合せ窓口:海上保安庁海洋情報部技術・国際課 03-3595-3604
主催:海上保安庁海洋情報部 共催:一般財団法人日本水路協会

